
◆ 目次 ◆

- 1 齊藤純在モンリオール日本国総領事挨拶
 - 2 8 月及び 9 月の休館日
 - 3 領事窓口時間等について
 - 4 領事だより
 - (1) 改正旅券法令の施行に伴う旅券手続きの変更点概要（3 月 27 日から）
 - (2) 夏季休暇シーズンに旅行を予定されている皆様へ
 - (3) 領事出張サービス開催予定のお知らせ（NS 州、NL 州）
 - (4) モンリオール日本語センターからのお知らせ
 - 5 広報・文化だより
 - 6 当館管轄 5 州の政治
 - 7 当館管轄 5 州の経済
- * * * * *

本文欄

1 齊藤純在モンリオール日本国総領事挨拶

皆さまこんにちは。

それぞれに夏を楽しまれて、さあ秋の陣！といったところでしょうか？（天気のこと
はもう書かないようにします、笑）

もちろん、夏が書き入れ時で休む暇なんてなかった～という方もいらっしゃると思
います。私は昨年に続いて東京から訪ねてきてくれた中二の次女と旅行に行くなどして
リフレッシュして参りました。

私にとっての今月のハイライトは何といっても当地での広島平和式典でした。

例年モンリオール植物園内の日本庭園で開催されてきたのですが、コロナ禍で招待
客を入れられない年が続き、ようやく 4 年ぶりに大勢の参列者を得て厳粛に執り行わ
れました。

78 年前に広島に原爆が投下されたまさにその時刻、当地の 8 月 5 日 19:15 にモントリ
オール市議会議長とともに平和の鐘を撞き、皆さまと一緒に黙とうを捧げました。市
当局はもとより、連邦議員や米国総領事を含む領事団、日本商工会や日系文化会館の
関係者も参列してくださり、モンリオール市主催の行事とはいえ、私としても感謝
の気持ちでいっぱいでした。

例年この時期に語学研修のために当地を訪問していた広島市の高校生たちも久しぶり
に来訪を果たし、全員が式典に参列して、代表者が平和宣言を読み上げました。一行
の当地到着直後に総領事館で話をする機会があったのですが、その時は時差ボケもあ

り眠そうな生徒もいましたが、この日はみなキラキラした目をしていて、まぶしいくらいでした。次代を担う子ども達が様々な経験を積み、視野を広げていってくれることはとても頼もしく感じます。

先日領事メールを送信しましたが、以前ここで書いた州法96号に関する情報提供をお願いします。動き出すのに少々時間がかかってしまい恐縮ですが、州法を順守しつつも、在留邦人の方々が業務や生活で感じる不便を少しでも軽減していきたいというのが総領事たる私の着任以来の願いであり務めです。これまでに実施した何回かの申し入れで、州政府や州議会議員に働きかけていくに当たっては、具体的な事例を提示することがとりわけ重要であることを痛感しているところ、これまでよりも広く皆さまにお声がけするものです。総領事館のドアはいつでも開かれていますので、メールではなく会って伝えたいという場合はどうか遠慮なく申し出ていただくようお願いします。

早くも日常に溶け込んだかの感があるモンリオールのREM (Réseau Express Métropolitain、通勤通学電車といったところでしょうか) ですが、7/31の正式開業直前の週末に無料開放されたので試しに乗ってみました。日本であれば始発から「撮り鉄」を含めて大混雑するのですが、モンリオールは初日の土曜日の朝ならまだ閑古鳥が鳴いているのではないかと考えてのんびり中央駅に行ってみると（それでも9:00前には着きました）、なんと行列しているではないですか！かなり遠くに見える列の先頭は地下ホームに吸い込まれていっているようでしたので、素直に並びました。列が進むにつれて並ばずに地下に降りていく人たちの姿が目に入り、「なぜきちんと規制しないのだ！」と内心プリプリしていたのですが、引き続きおとなしく並んでいました。ようやく先頭近くにたどり着いたら、実はその列は乗車証明のスタンプをもらうためであることが判明し、さっさと離脱して地下ホームに向かいました（私はモノを集める趣味はありません）。そして、なにごとにも先入観を持たずに自分できちんと確かめなくてはいけないなあ、との認識を新たにしました。

モンリオールに限らずいろいろな国の街角で、お店でもないの長い列ができていて、人々が吸い込まれていく様子を目にすることがありますが、「これは何の列ですか？」と聞きたいのを抑えて通り過ぎるのに多少努力が必要な私です……。ちなみに、終点まで往復してお昼前に戻ってみると、スタンプをもらおうがもらうまいが列に並ばなくてはならないほど、物見高い人々が押し寄せていました。

車内では皆興奮した面持ちでしたが、高齢者のグループが多くて少々意外でした。終点で一旦降りようかと思いましたが、車窓からまた長蛇の列が見え、たぶんスタンプのためではなかったので、また並ぶのは勘弁・・・とばかりにそのまま折り返しました。復路の車内にはなんといわゆる「鉄ヲタ」のマニアックなケベック人が先頭車両の最前部に陣取っていて、REMやVIA Railについて声高にいろいろと解説していました（もちろん写真も撮りまくっていました）。周りの乗客には完全に聞こえているにも

かわらず、誰一人として反応しなかったのが印象的でした（こちらではいつもならすぐ会話が弾みますよね）。「おたく」とそうでない人の「共存」はどこの国でもそう簡単ではないのだなあなどと、どうでもいいことを考えているうちに列車は無事にモントリオール中央駅に戻ってきました。

正式開業した途端に三日連続してトラブルに見舞われたことはモントリオール在住の皆さまはご存じのとおりですが、その後は順調に運行しているようです。私の執務室から往来する REM の姿が見えるのですが、パソコンの画面に疲れて遠くを見る際にはつい「がんばれ！」などと心の中で声をかけてしまいます（元鉄道少年です）。

レストランでのチップについてこれまで何回か書き散らし、我ながらちょっと品がないかなと少々モヤモヤしていたのですが、先日仏語系ニュースで最近のチップを巡る話題を取り上げていて、やはり多くの人の関心事項なのだと胸をなでおろしました。クレジットカード用の端末を持ってきてくれたお店の人がそのまま脇に立って、私がチップの額を打ち込む姿をじっと見降ろしていても、もはや動じなくなりました。

また長くなりましたが、最後にもうひと言。今般東京から帰国命令が届き、9月下旬に離任することになりました。二年弱の任期ということになり、まだまだやり残したこと、お会いしたかった方、親交を深めたかった方が多いのですが、これも外交官の仕事の常ですので、引き際を弁えて後任にバトンタッチします。送別会や引越作業でグロッキーになっていない限り、来月も最後となる挨拶文を執筆しますので、ぜひご期待下さい。あ、余計なお世話でしたね・・・。

2 8月及び9月の休館日

●9月4日（月） Labour Day

●毎週土日

3 領事窓口時間等について

（1）当館の開館時間

以下の URL をクリックするとご確認いただけます。手続きの内容によって時間が異なりますので、ご注意ください。

https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/itpr_ja/office.html#section3

（2）一部の取り扱いにおける予約制

（i）対象となる取り扱い

- ・在留証明の申請
- ・署名証明の申請

- ・警察証明の申請
- ・戸籍国籍関係の届出

(ii) 予約方法

当館領事班に、Eメールまたは電話でご連絡をお願いします。

【Eメールアドレス】 consul@mt.mofa.go.jp

【電話番号】 514-866-3429

4 領事だより

(1) 改正旅券法令の施行に伴う旅券手続きの変更点概要（3月27日から）

●オンライン申請の開始

(i) 2023年3月27日から、旅券の発給申請手続きがオンライン化されています。

(ii) オンライン申請の場合、

・戸籍謄本提出の省略が認められる切替申請は、申請時に在外公館の窓口へ出向く必要がありません（旅券の受け取りは、これまで通り窓口での対応となります。受け取る際は、必ず前回の旅券をお持ちください）。

・新規申請の場合や、現在お持ちの旅券面の記載事項を変更する場合は、戸籍謄本の提出が必要になります。窓口での提出、または、書留郵便やそれに準ずるものであれば郵送で提出することもできます。

(iii) 日本国外居住者の皆様は、オンライン在留届（ORR ネット）で在留届を提出した上で、在留邦人用旅券申請スマホアプリを通じてオンライン申請が可能となります。

(iv) オンライン申請は、アプリの画面上の案内にしたがって実施していただくことになります。

(v) 紙で申請されるか、オンラインで申請されるかは、申請者の皆様にお選びいただけます。したがってこれまでどおり、紙の旅券申請書に必要事項を記入し、当館窓口に来館してご申請になる方法も引き続き可能です。

【外務省ウェブサイト】

https://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/passport/page22_004039.html

●申請手続きの変更【今一度確認ください！】

(i) 戸籍謄本について

新しく旅券を申請する場合や、旅券面の記載事項に変更がある場合は、戸籍抄本ではなく、戸籍謄本をご用意ください。3月27日以降、戸籍抄本での申請はできなくなりました。

(ii) 査証欄（ビザページ）が残り少なくなった場合

旅券の査証欄を追加する増補制度が廃止されました。旅券の査証欄が残り少なくなりましたら、新しい旅券を申請してください。

(iii) 新しい旅券の速やかな受け取りについて

新しい旅券が発行され、6か月以内に受け取られない場合、新しい旅券は失効します。失効後5年以内に次の旅券を申請する際は、手数料の額が通常よりも高くなります

(※2023年3月27日以降に申請された旅券が6か月以内に受け取られずに失効した場合に適用されます)。

(iv) 申請書の様式変更について

オンライン申請ではなく、紙の申請書を使い窓口で申請される場合、2023年3月27日から、旅券発給等のための申請書の様式が変更されています。同日以降の申請では、古い様式の申請書では受付できません。ご自宅で印刷可能な新様式のダウンロード申請書は以下のウェブサイトからご利用いただけます。

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/passport/download/top.html>

(2) 夏季休暇シーズンに旅行を予定されている皆様へ

夏季休暇シーズンには、カナダ国内外を問わず旅行される方が増えます。ご旅行の前に今一度、以下をご参考にいただき、安全で楽しい滞在、休暇をお過ごしください。

また、在留邦人のご親族、ご友人がカナダを訪問される際には、その方々にも事前にお伝えいただければ幸いです。

●ご旅行前にパスポートの残存有効期限をご確認ください

旅券の切り替え（更新）は残り1年未満になった日から可能です。

●渡航先でパスポートを紛失又は盗難にあった場合

まず、最寄りの警察署で紛失（又は盗難）届を提出してください。その他必要書類や手続きについては滞在地を管轄している日本国大使館・総領事館にお問い合わせください。

●海外旅行傷害保険に加入する

海外旅行の際には海外旅行傷害保険に加入されることを強くお勧めします。思いがけず旅行中に体調を崩したり、けがをしたりした場合、日本国外では入院・治療費が高額となるケースが多いです。旅行先で深刻な症状となり、日本への医療搬送を希望したくても支払いに問題が発生したり、保険加入有無の確認に時間を費やしたりする可能性もあります。クレジットカード付帯の保険は事前に適用条件や補償額をご確認ください。

●たびレジに登録する

海外渡航や在留の際に緊急事態が発生した場合、外務省または在外公館から随時情報を提供いたします。在留届の提出義務のない3か月未満の短期渡航者の方（旅行者や出張者）向けに、緊急時に情報提供を受けられる海外旅行登録システム「たびレジ」があります。旅行出発前にぜひご登録ください。

<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/index.html>

（3）領事出張サービス開催予定のお知らせ（NS 州、NL 州）

9 月に NS 州ハリファックスで、10 月に NL 州セントジョンズで、それぞれ領事出張サービスを実施する予定です。

【実施予定日時】

●NS 州ハリファックス

9 月 26 日（火）16 時～18 時、9 月 27 日（水）9 時 30 分～14 時

●NL 州セントジョンズ

10 月 18 日（水）9 時 30 分～12 時

詳しくは当館ウェブサイトをご覧ください。

<https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/jp/consular/oneday.html>

（4）モントリオール日本語センターからのお知らせ

【第 4 回モントリオール日本語センター主催 カナダ・こどもスピーチコンテストのお知らせ】

モントリオール日本語センターは、オンラインにて第 4 回カナダ・こどもスピーチコンテストを開催いたします。

●応募資格

日本の小学 1 年生から高校 3 年生まで（2005 年 4 月 2 日～2017 年 4 月 1 日生まれ）

で、カナダ国内に住み、日本語でスピーチができること。

小学校 3 年生終了時まで全日制の日本人学校もしくは日本の小学校に通っていた期間が 2 年未満であること。（※週 1 回通学する日本語補習校での学習は含みません）

●テーマ

1. 将来の夢
2. 私の好きな日本のことば
3. 日本に行ったらやりたいこと

以上の 3 つの中から一つ好きなテーマを選び、日本語で発表してください。

●スピーチの長さ

小学校低学年（1～3 年生）：2 分（800 文字程度）

小学校高学年以上：3 分（1200 文字程度）

●日程及びコンテスト開催方式

応募締め切り：11 月 5 日（日）

ビデオ必着：11 月 12 日（日）各自で撮ったビデオとスピーチ原稿を送っていただきます。

予選：11 月 19 日（日）

本選：12 月 10 日（日）オンラインにてコンテスト開催

詳細、応募フォームは後日こちらのメルマガにてお知らせいたします。日本語で思いを伝えたい生徒さんの応募をお待ちしています！

5 広報・文化だより

当館では、日本関連行事に関する情報を随時募集しております。皆様ご自身が実施される日本関連行事のほか、知り合いの方についての情報を（ culture@mt.mofa.go.jp ）までお知らせください。毎月 10 日までに原稿をいただければ同月のメールマガジンに掲載することができます。ホームページへの掲載は随時行います。

（1）当館は、以下の SNS 公式アカウントを開設しています。日本や当館の活動に関する情報を随時発信しています。

●フェイスブック

<https://www.facebook.com/JapanConsMontreal>

●ツイッター

<https://twitter.com/JaponMontreal>

●YouTube チャンネル

<https://www.youtube.com/channel/UC5Fc52skP5w8otfowcN30ag>

（2）第 4 回国際裁判機関等インターンシップ支援事業のお知らせ

<https://intern-support.jp/>

（3）2024 年度日本万国博覧会記念基金助成事業（募集）のお知らせ

<http://www.osaka21.or.jp/jecfund/english/information/>

（4）巡回展「現代・木彫・根付」

和装文化が興隆した江戸時代に、印籠や煙草入れの留め具として使用された根付。現代

根付師が制作した木彫の根付を中心に、「現代・木彫・根付」の「現在（いま）と未来（これから）」を紹介します。国際交流基金との共催、入場無料です。

期間：8月5日（土）～9月2日（土）（水～金：12時～19時、土曜：11時～17時）

場所：L'Artothèque

5720 rue Saint-André, Montréal

https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/pdf/Netsuke_Poster.jpg

期間中、同会場にて以下のワークショップが行われます。いずれも事前登録が必要です。

○着物ワークショップ（無料）

日時：8月24日（木）17時～18時半、26日（土）13時～14時半

事前登録先：

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSdQVRkchwgeI0cTWR8IYHxBc9gyxu7aDpac0d071Ki1cKKQGQ/viewform?usp=sf_link

○書道ワークショップ（参加費：12ドル）

日時：8月25日（金）17時～18時、26日（土）16時～17時

事前登録先：info@artotheque.ca

<https://www.facebook.com/artothequemontreal/posts/pfbid043aeWB64CXAA9W9UZyfrzP9pVwqESVJV522ss8aEjNUuLtsvVSqDNfkecznn93uFI>

（5）日本関連行事等のお知らせ

* 以下の日本関連行事は、必ずしも当館が共催、後援、保証している行事ではありません。また、同行事にて表明される意見等は日本国政府の公式見解とは異なる内容を含み得ます。行事詳細については、各主催団体へ直接お問い合わせください。

* 外部のサイトへのリンクは、あくまでも皆様へのご参考情報です。外部のサイトに掲載されている内容や信頼性に関しましては、当館は一切責任を負いませんのでご了承ください。

●「JFF+ INDEPENDENT CINEMA 2023」

国際交流基金が、日本各地のミニシアターや世界の映画人から推薦を受けた日本映画12本とミニシアター10館を紹介する映像を全世界に向けて無料配信中です。

映画のラインアップ、視聴方法等、詳細はこちらからご確認ください。

<https://jff.jp/watch/ic2023/jp/films/>

●MUTEK Festival

電子音楽・デジタルアートの祭典です。日本からもアーティストが多数出演します。

期間：8月22日（火）～27日（日）

場所：市内各所

<https://montreal.mutek.org/>

●さくらマーケット (Sakura Market) (ハリファックス市)

日本食、日本関連の陶芸、アクセサリ、工芸品などの販売、ダルハウジー大学の日本人学生による折り紙と書道のワークショップが行われます。

日時：9月10日(日) 12時～15時

場所：Halifax Brewery Market Upper Courtyard

1496 Lower Water St, Halifax, NS

<https://instagram.com/sakuramarkethfx?igshid=NTc4MTIwNjQ2YQ==>

<https://www.facebook.com/sakuramarkethfx>

●モントリオール子どもクラブ

モントリオール子どもクラブは、日系親子の集うプレイグループです。参加をご希望の方は以下のメールアドレスにご連絡ください。

開催日時：9月第2 & 第4金曜日 11時～15時

場所：モントリオール日系文化会館

参加費：1ドル

連絡先：info.mtlkodomoclub@gmail.com

FB アカウント：<https://www.facebook.com/profile.php?id=100090537858737>

IG アカウント：https://www.instagram.com/kodomoclub_montreal/

●ランゲージ・エクスチェンジ (仏語－日本語)

ラヴァル大学院生が主催するオンライン・ランゲージ・エクスチェンジが、毎週土曜日朝8時(カナダ東部時間)から開催されています。

<https://www.meetup.com/en-AU/canasian-station/>

問い合わせ先：Pascal Paradis 氏 (pascal.paradis.2@ulaval.ca)

●国際交流基金トロント日本文化センター

日本語教師向けにワークショップや情報交換会(オンライン)が随時開催されています。

<https://jftor.org/language/teachers/>

E-library で日本の本、マンガや雑誌などを読むことができます。

<https://jf.overdrive.com/>

その他、様々なオンライン・イベントが随時開催されています。詳細はこちらからご確認ください。

<https://jftor.org/>

6 当館管轄 5 州の政治

(1) ケベック (QC) 州

・7月3～6日、ラック・サン・ジャンで、ウイグル人指導者、加・米・英の国際法専門家、地元政治家等十数名は、中国の新疆ウイグル自治区で弾圧を受けるウイグル族の状況について意見交換を実施。ブロック・ケベコワが会合開催を支援。

・7月5日、州北部の森林火災に対応するため、韓国から150人強の消防隊が到着。

・7月7日、州議会は、フェイスブックとInstagramへの広告掲載を停止。ウェブ大手にカナダの報道機関へのコンテンツ使用料支払いを義務付ける連邦「オンラインニュース法」にメタ社が反対し、右コンテンツをブロックする決定をしたことに抗議するもので、州・連邦政府やモントリオール商工会議所等も同様の措置を決定済み。

・7月10日、州北西部で発生していた森林火災は、全て鎮圧または延焼が食い止められた状態に落ち着く。

・7月14日、州政府は、医師不足に対応するため、今後4年間で医学部定員を660人増員すると発表。州では現在1000人のかかりつけ医が不足している。

・7月19日、与党ケベック未来連合(CAQ)のボタン議員(ジャン・タロン区選出、閣僚ではない)は、初当選からわずか3年で議員辞職を発表。

・7月20日、今年3月に米国境と接するロクサム街道が閉鎖されて以来、空路で入国する亡命希望者が急増。2023年の州内の亡命希望者数は5ヶ月で31000人に上り、現在のペースが続けば2022年の記録的な水準(58000人)に達する可能性あり。

・7月26日、州政府は、2024年より、一部の例外を除き、医療・福祉サービス機関による民間派遣会社の利用を段階的に禁止すると発表。

・7月26日、トルドー連邦政権の内閣改造を受けた州選出の閣僚数は10人と変更なし。

(2) ノバスコシア (NS) 州

・7月21日、州各地で記録的な豪雨。場所によっては300ミリの雨が降り1000人以上の州民が避難。家屋の浸水、道路の通行止め、最大4万世帯で停電が発生、West Hants(ハリファックスから北に60km)では4人が行方不明となる。22日、州政府は、州全域の非常事態宣言を発出(26日に解除)。

(3) ニューブランズウィック (NB) 州

・7月10日、ファーストネーションズ議会(AFN)は、アーチボルド代表の解任を受け、NB州マダワスカ・ファーストネーション出身のバーナード(Joanna Bernard)氏を暫定代表に任命。

・7月31日、州進歩保守党代表は、6月に一部の党員から提出された書類がヒッグス党首解任に向けたプロセスを始める要件を満たしていないと発表。選挙区支部長が署名した手紙が最低数の20通が集まっていなかったとのこと。

7 当館管轄 5 州の経済

(1) QC 州

・7月4日、モントリオール圏交通局 (ARTM) は、建設計画見直し中の東部都市高速交通網 (REM de l'Ést) について、360 億加ドルをかけて全線地下構造にすることを提案。プラント・モントリオール市長は提案を歓迎。5 日、ルソー州首相は、360 億加ドルものプロジェクト費用を州民は支払えないと発言。

・7月5日、脱炭素に特化する 2 企業 (QC 州の Airex Énergie と仏スエズ) と州の林業企業 Groupe Rémabec は、ポール・カルティエ (Port-Cartier, Côte-Nord 地域) に世界最大級のバイオ炭製造工場を共同で建設すると発表。初期生産能力は 1 万トン、2024 年操業開始予定。バイオ炭は、土壌への炭素貯留効果や土壌改良効果が認められている。

・7月6日、ハイドロケベック (HQ) の子会社でバッテリー蓄電に特化する子会社 Evlo が米国で初の受注。バーモント州の Troy の 3 MW/12 MWh の風力発電用蓄電池プロジェクトで 20 年間の契約を獲得。年内稼働予定。

・7月10日、ボンバルディア社は、カナダ軍の対潜哨戒機 CP-140 Aurora の後継機を受注した場合、国内経済効果は 52 億ドル、州内 6000 人を含む国内 22000 人以上の雇用創出を見込むことができると予測。それを踏まえ、カナダ政府に対し、上記後継機として Poseidon P-8A の受注を目指す米ボーイング社との競争を可能にする入札を行うよう求めた。

・7月11日、リオティントは、州の企業 Azimut Exploration と投資・合併事業契約を締結し、La Grande 水力発電所がある地域 (ジェームズ・ベイ近郊) の 2 つのリチウム鉱床 (Corvet, Kaanaayaa) を開発する。

・7月12日、マグダレン諸島の 2023 年のロブスターの水揚げ量は、史上最高の 1510 万パウンドを記録。

・7月18日、州政府は、若手農家の起業を支援するため 500 万加ドルの予算を計上。州内の農家の平均年齢は 2016 年の 52.9 歳から 2021 年には 54 歳に上昇、40 歳未満の若手農家の割合は同じ時期 18% から 16% に減少している。

・7月20日、連邦政府が検討中のケベックシティ・トロント間の高頻度列車 (HFT/TGF) について、3 コンソーシアムが VIA 鉄道とプロジェクトに取り組む資格を獲得。各コンソーシアムに少なくとも加企業が 1 社参加。入札は 2024 年夏に実施予定。

・7月20日、アエロポール・ド・モンレアル (ADM) は、退任を発表済みのランヴィル氏の後任にボーシュマン (Yves Beauchemin) 氏を社長兼 CEO に任命。9 月就任予定。

・7月31日、都市高速鉄道網 (REM) が開通。電車は自動走行で、ブロッサール (サウスショア) とモントリオール中央駅を結ぶ 16.6km の区間 5 駅を 18 分で運行する。通常運転を開始した初日はポイント故障で朝と晩に約 1 時間ずつ運行が中断するも、運営会社 CDPQ Infra は「当面は慣らし運転期間」と説明。他の REM 路線は、モントリオール空港支線 (これのみ 2027 年予定) を除き 2024 年開通予定。

(2) NL 州

・7月12日、マスカラットフォールズ水力発電プロジェクトの状況を監視するコンサルティング会社 Liberty Consulting が 6 月に州公益事業委員会に提出した報告書によると、ダムにある 4 基の発電ユニットのうち少なくとも 1 基を完全に解体して修理する必要がある。2 号機の部品に振動による損傷が確認され、他 3 基にも同じ現象が発生している可能性があるとのこと。修理の費用とタイムラインは現状不明。さらに 18 日、

ラブラドルとニューファンドランド島をつなぐ送電線(LIL)の約160スパン分の電線を安定させるため、「ターンバックル」と呼ばれる機器を9000台交換する必要があるとの報道。ターンバックルの不具合により度々停電が発生してきたとのこと。NLハイドロによると、修理には4年、1600万加ドルかかる見込み。2012年にプロジェクトが認可された時点では74億加ドルと見積もられていたマスクラットフォールズ水力発電プロジェクトの費用は、6月現在135億加ドルに達した。

(3) NS州

・7月17日、EverWindは、同社が州で進めるグリーン水素・アンモニア製造プロジェクトのために10億加ドルを支出すると発表。同プロジェクトのフェーズ1(2025年開始予定)の電力供給源として、合計530MWの風力発電プロジェクト3件を州内で取得済み。

[在モンリオール総領事館メールマガジン]

○このメールマガジンは送信専用アドレスから、当館に在留届を提出されている方と、当館メールマガジン読者登録をされている方に向けて送信されています。本メールあてに直接返信なさらないようお願いいたします。本メールマガジンに関するご意見・ご要望は以下のメールアドレスあてに送信してください。

emagazine@mt.mofa.go.jp

なお、当メールマガジン配信システムでは、技術上フランス語表記のアクセント記号をつけることができないことから、当館のHPにおいてアクセント記号付きのものを公開しております。

○メールマガジン読者登録をされている方で、配信中止・配信先変更を希望される方は、「配信中止(又は登録解除)」、「配信先変更」を希望する旨明記の上、emagazine@mt.mofa.go.jpまでご連絡ください。登録完了後に確認のメールが届きます。

ただし、在モンリオール総領事館ホームページ内の読者登録ページから登録を行った方は、同ページ内の、「利用者情報の変更／削除」から同様の手続きが行えますので、そちらをご利用ください。

○メールマガジンのバックナンバーは、以下のURLをクリックすると閲覧いただけます。

https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/itpr_ja/mailmag.html

○参考ホームページ

首相官邸ホームページ (www.kantei.go.jp)

外務省ホームページ (www.mofa.go.jp/mofaj/)

在カナダ日本国大使館ホームページ (www.ca.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html)

当館ホームページ (https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html)

当館 Facebook (www.facebook.com/JapanConsMontreal)

当館 Twitter : @JaponMontreal <https://twitter.com/JaponMontreal>

○発行：在モンリオール日本国総領事館

Consulate General of Japan in Montreal

1 Place Ville Marie, Suite 3333, Montreal, Quebec, H3B 3N2, Canada

○本メールマガジンからの転載を希望する場合は総領事館メールマガジン担当
(emagazine@mt.mofa.go.jp) までご相談ください。

■-----■